

水生生物との共生事例について

浄化槽整備による効果事例

兵庫県^{なかしやうかみく}多可町加美区

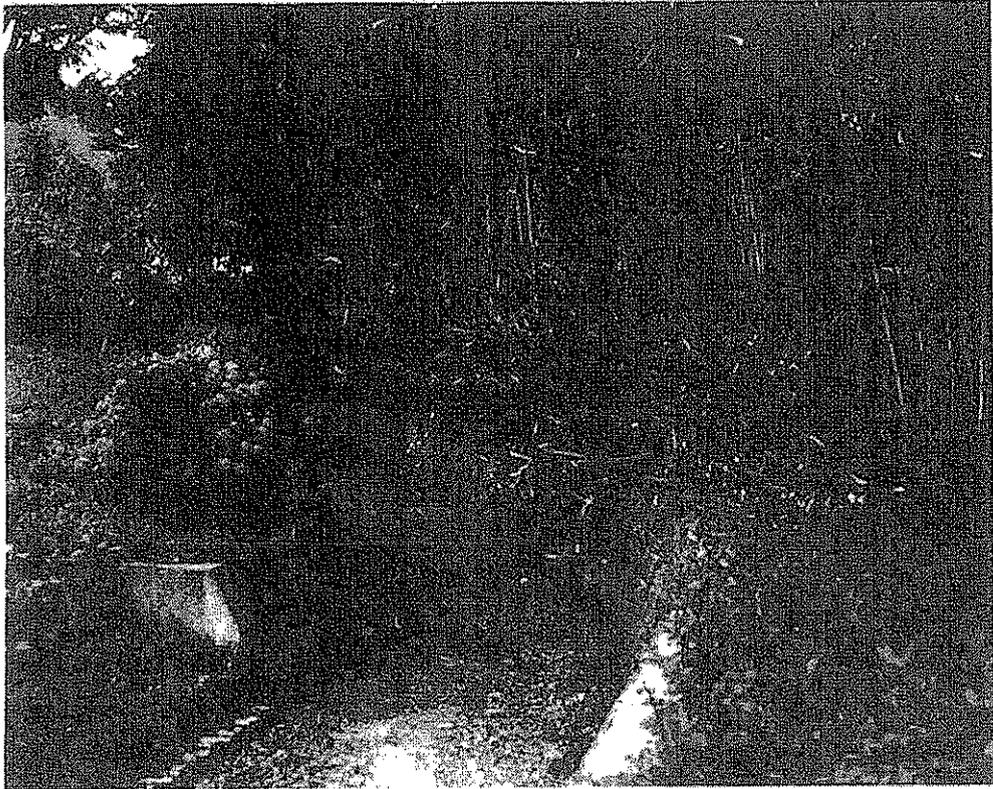
平成17年11月1日に多可郡3町が合併して多可町となり、人口約25,000人の町となった。旧加美町(現多可町加美区)は人口約7200人の町で昭和62年度から「となりの町へきれいな水を流そう」を合い言葉に全町下排水整備が進められた。特に最上流部の集落がいち早く合併浄化槽整備を始め平成17年度末には392基設置されている。また、集合処理も昭和62年度から農業集落排水事業が、昭和63年度からコミュニティープラント事業が整備が進められ、平成5年度末に町内8施設が完成し供用開始された。

これにより、町の南北を貫流する杉原川やその支流の水質も改善され、減少していたホタルも年々増加し、今では阪神間からもホタルの見学に訪れている。また、ばいかもの花も見られるようになっている。

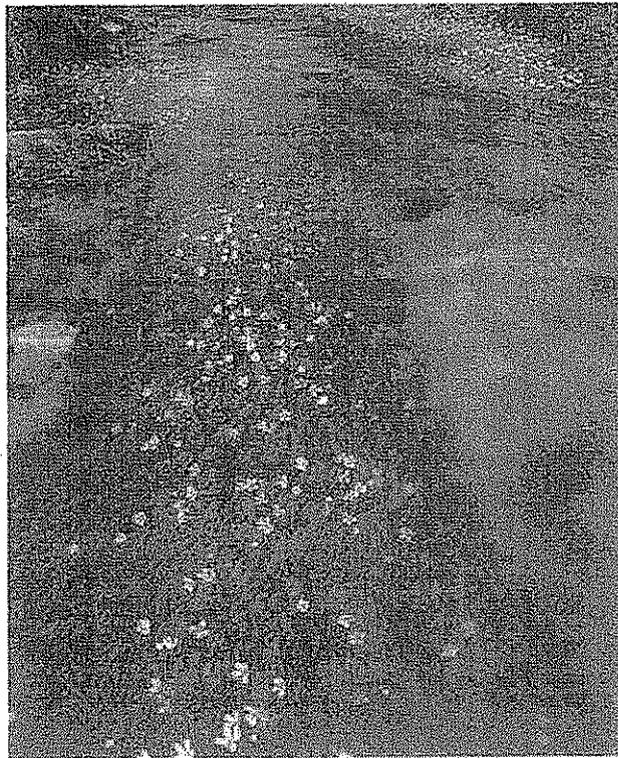
・多可町加美区の概要

多可郡加美区は多可郡3町が平成11年11月1日に市町村合併をして多可町となり、旧町名を残すため旧町名に区を冠して加美区となっている。加美区は多可町の町の北部に位置し兵庫県のほぼ中央部、播磨地域の最北部に位置している。東西6.8km、南北18.7kmで面積が84.06㎡で杉原川とその支流沿いの谷間に25集落が分付し人口は約7200人の町で、面積の85%が山林で占められている。

特産物は、千年の歴史を誇る手漉き和紙のルーツである「杉原紙」があり、兵庫県の重要無形文化財、伝統的工芸品に指定されている。

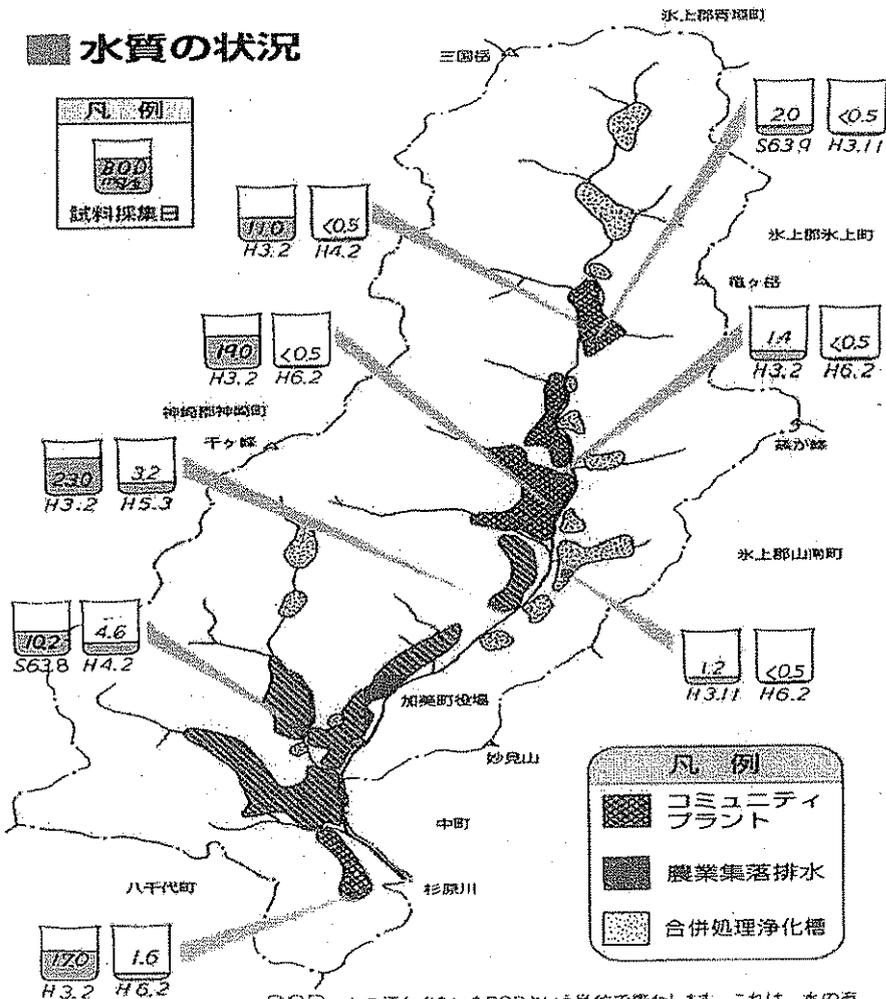


▲観音寺ホタル乱舞



▲杉原川バイカモ

水質の状況



BOD 水の汚れくあいをもBODという単位で察知します。これは、水の有機性の汚れをバクテリアが食って分解するのに必要な酸素の量のことです。mg/Lやppmといった表わし方があります。水が汚れていれば、それだけ酸素の量が必要で、BODも大きな数字になります。逆にきれいな水はBODの値もそれだけ小さくなります。

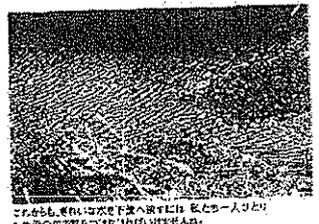
「1町内の町へきれいな水を配そう」とを合言葉に、下水道整備、1月25日現在の集約処理の水質化率は97.6%で、小規模合併処理浄化槽の普及率は97.2%、これを合わせた町全体の水質化率は97.8%です。
 加美町の水がどのくらいきれいになったか、毎年10月で調査をしています。11月25日の調査では、水の汚れ具合を示すBODと有機物濃度の調査対象の町内平均値は、0.9ppmと、昨年より0.1ppm低減し、これは、比較すると加美町の水は昨年と同様と、昨年より0.1ppm低減し、これは、行けなかった運動が水質化率、皆さん一人ひとりの努力の結果でもあります。
 全町水質化率でみると、きれいな水を配する町もたくさんあります。また、町内下水道を整えている町もたくさんあります。ぜひお早めにお願いします。

町内の水質化率97.5% 河川の水質検査結果「良」

11.6.2月号之報

「11.6.2月号之報」の町内水質化率97.5%と、合併処理浄化槽の普及率97.2%、これを合わせた町全体の水質化率は97.8%です。これは、比較すると加美町の水は昨年と同様と、昨年より0.1ppm低減し、これは、行けなかった運動が水質化率、皆さん一人ひとりの努力の結果でもあります。全町水質化率でみると、きれいな水を配する町もたくさんあります。また、町内下水道を整えている町もたくさんあります。ぜひお早めにお願いします。

水質化率96.8% 河川の水質検査結果「良」



加美
H19
2月号
之報
加美
MARCH 2004

加美
MARCH 2004

水質化率96.8%
河川の水質検査結果「良」

浄化槽整備による効果事例1 (出羽川) いずわがわ

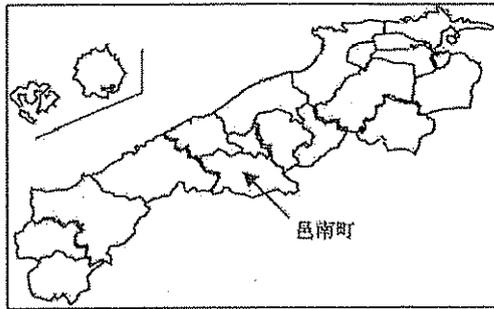
島根県 邑智郡 邑南町

邑南町は、県中央部中国山地の麓に位置する人口約13,000人の農林業の町です。

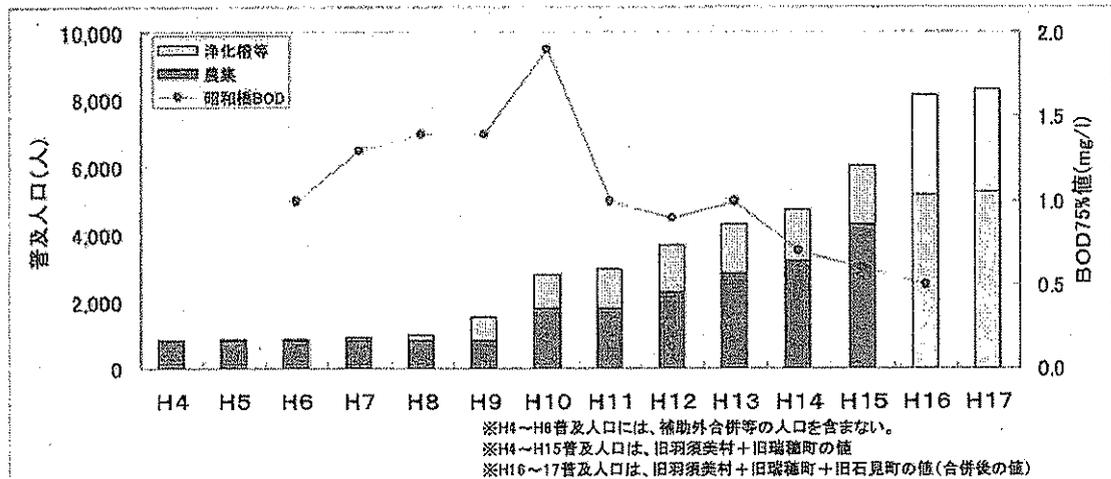
邑南町を流れ江の川に注ぐ出羽川には、国の天然記念物であるオオサンショウウオや、しまねレッドデータブック絶滅危惧I類に指定されているオヤニラミが生息しています。これらの種は、県内でも水の

きれいな限られた河川にしか生息しておらず、産卵の際には特にきれいな水を必要とします。

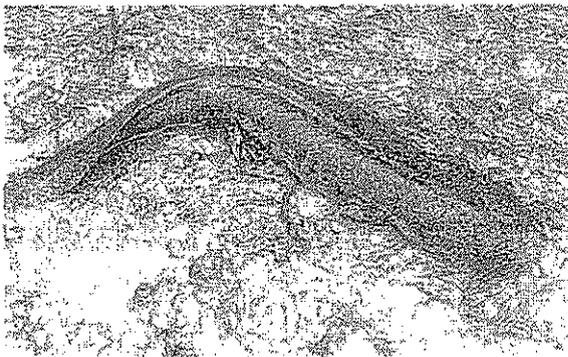
出羽川では、平成10年まで水質が徐々に悪化する傾向にありましたが、流域の浄化槽事業（年間約40基設置）や農集事業の整備により、近年BOD値が低下しAA類相当の水質までに改善されています。



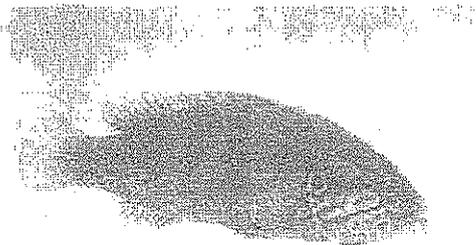
出羽川の水質と浄化槽・農集普及人口



国の天然記念物であるオオサンショウウオ



レッドデータブック絶滅危惧I類に指定されているオヤニラミ



出典：「しまねレッドデータブック」